

## 目次

[今週号は 2021 年 12 月 3 日時点の情報を基に作成しています]

投資コラム	： 最近の経済指標	.....	1
日本株銘柄情報	： ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス(4433)	.....	2
日本株銘柄情報	： クリーク・アンド・リバー社(4763)	.....	3

## 最近の経済指標

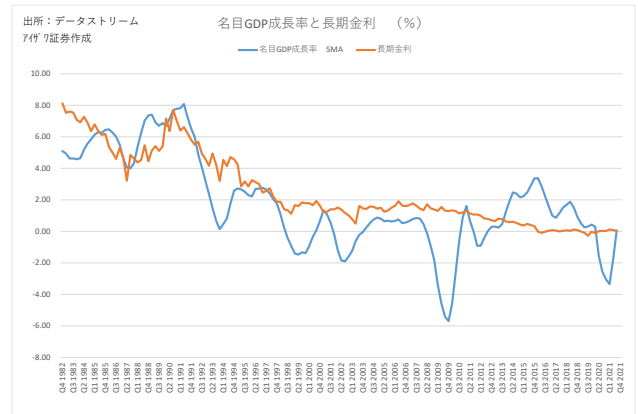
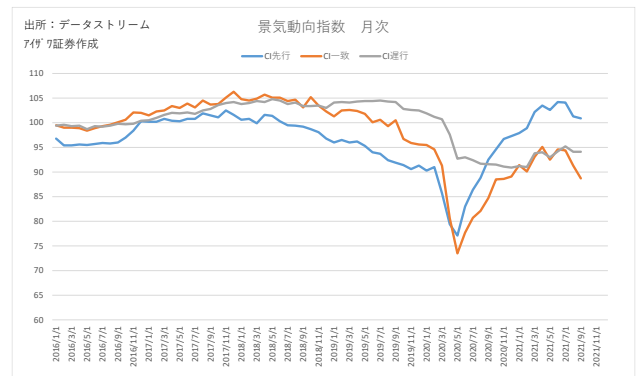
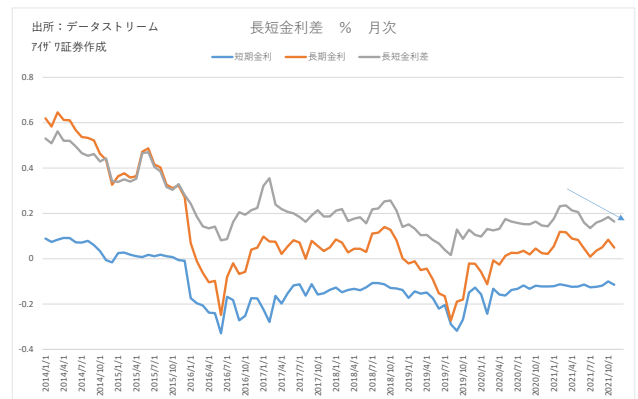
笹木 義次

2 つの要因から、今後の日本経済は循環的な景気調整局面に向かうと思われま

まず、景気循環の先行指標である長短金利差が縮小しています。日本経済の短期金利はほぼ横ばいのため、長短金利差は長期金利の動きとなります。この長期金利が、直近では低下しています。

また、景気動向指数が、景気調整局面に入る動きとなっています。直近の景気動向指数は、CI 先行指数と CI 一致指数が低下していますが、CI 遅行指数は堅調に推移しています。これは、景気調整局面となった 2019 年 1 月以降の動きと類似しています。

日本経済は長期金利が極めて低い水準にあります。そのためかろうじて名目 GDP 成長率が長期金利を上回る水準となっています。景気調整局面でも、名目 GDP 成長率が長期金利を上回る状況が継続するならば、バブル的な株価形成は継続すると見ています。



# ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス (4433)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2021/12/3)	2,490.0 円
売買単位	100株
市場	東証1部
時価総額	446 億円

## 事業内容

ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス(以下ヒトコム HD と略称します)は、販売、営業、サービス分野における営業支援等のサービスを提供しています。6つのセクターから構成されています。デジタル営業支援、販売系営業支援、ツーリズム・スポーツ、ホールセール、セールスビジネス支援、その他の6つのセクターです。6つのセクターを持っている事で、需要の変動に対応した事業ポートフォリオを構築しています。

## 特徴

多様な顧客接点に対応できる事、成果追求型の営業支援を行っている事、多くのスタッフを必要とするスポーツやイベントの運用ノウハウを持っている事が、ヒトコム HD の特徴です。

## 前期は大幅増益に

ヒトコム HD の 2021 年 8 月期の業績は、売上高が 842 億 25 百万円と前年比で 17.8%の増収に、営業利益は 47 億 87 百万円と前年比で 52.0%の増益となりました。営業利益は主に売上高の増収効果で増益となりました。事業ポートフォリオ効果によるものと見ています。売上高をセクター別で見ると、デジタル営業支援、ホールセール、その他の売上高が増収となり、全体の売上高の増収に寄与しました。

## <業績の推移>

連結 決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/8	71,499	3,149	3,361	1,370	76.7	20.5
2021/8	84,225	4,787	5,125	2,774	155.5	24.5
2022/8計	58,590	5,000	5,100	3,000	168.1	25.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。  
(注意)2022年8月期から「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

## <投資指標>

連結	
今期予想PER	14.8 倍
PBR	3.15 倍
予想配当利回り	1.00 %

ヒトコム HD では、デジタル営業支援の機能強化に取り組んでいます。また、物流業界への参入を表明しています。将来に向けて期待できる事であると見ています。

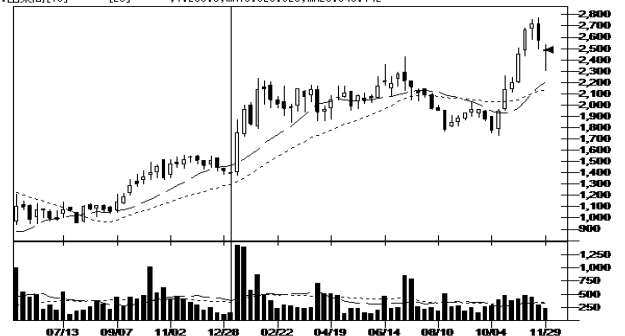
## 今期も増益計画

ヒトコム HD では、2022 年 8 月期の業績は、売上高は 585 億 90 百万円と前年比で 4.4%の増収を、営業利益は 50 億円と前年比で 4.4%の増益を計画しています。2022 年 8 月期から、収益認識に関する会計基準を適用しています。前年比較は、2021 年 8 月期に 2022 年 8 月期の会計基準を適用したものです。

前期伸長したセクターの売上高に関しては、慎重に見ています。前期苦戦した販売系営業支援、ツーリズム・スポーツなどのセクターの売上高の改善を見込んだ計画になっています。

筆者はヒトコム HD の 2022 年 8 月期の業績は、売上高が 600 億円と前年比で 6.8%の増収を、営業利益は 51 億円と前年比で 6.5%の増益を予測しています。事業ポートフォリオ効果により増収増益になると見ています。

5443300 ヒトコム HD 東証 選定 20/5/25~21/11/23  
日付:21/12/03 始:2482 高:2611 安:2424 現値:2490.71 出来高:22.1  
W:09/07 増移移動平均[13]-----[25]-----MA13:2206.92 MA25:2135.77  
SI:出来高[13]-----[25]-----V:238.0 MA13:325.023 MA25:345.142



(C) QUICK Corp. All rights reserved. 出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

# クリーク・アンド・リバー社(4763)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2021/12/3)	2,002.0 円
売買単位	100株
市場	東証1部
時価総額	461 億円

## 事業内容

クリーク・アンド・リバー社(以下 **C&R** と略称します)は、様々な分野の専門家を対象に専門家のネットワークを形成して、顧客企業に専門家のサービスを提供しています。提供する形態としては、派遣、紹介、請負となっています。また知的財産の管理と活用も行っています。専門領域として、クリエイティブ、メディカル・ヘルスケア、建築、クオリティティオブライフ、ライフサイエンス、コンピューターサイエンス、エンジニアリング、経営支援の8つの専門領域で、32万人の専門家をネットワーク化しています。

**C&R** では、専門領域を拡大させてきました。専門領域の拡大による分散効果で、需要変動に対する対応力が構築されています。そのため安定した売上高成長の実績を示しています。

## 上半期は上方修正に

**C&R** の2022年2月期上半期の業績は、売上高が210億35百万円と前年同期比で14.0%の増収に、営業利益は21億57百万円と前年同期比で48.2%の増益となりました。売上高の増収効果と利益率の改善で、営業利益は増益となりました。

TV映像、ゲーム、webなど主にクリエイティブ分野日本と医療分野の売上高が増収となり、全体の売上高の増収に寄与しました。利益率は、利益率の高い請負・アウトソーシングとラ

## <業績の推移>

連結	決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
	2020/2	32,946	2,083	2,103	1,359	63.6	15.0
	2021/2	37,314	2,447	2,485	1,647	74.3	16.0
	2022/2計	41,300	3,200	3,200	1,950	87.5	17.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

## <投資指標>

連結	指標	数値
	今期予想PER	22.8 倍
	PBR	3.97 倍
	予想配当利回り	0.84 %

ITマネジメントの構成比が高まった事から、上昇しました。**C&R** ではDXを活用した業務支援などの効率化に取り組んでいます。こうした事も利益率の改善に寄与したと見ています。

上半期の好調な業績から、今下期には既存事業への投資を行います。主に専門家人材の募集となります。

## 通期も増益計画

**C&R** では、2022年2月期の業績は、売上高が413億円と前年比で10.7%の増収を、営業利益は32億円と前年比で30.7%の増益を計画しています。上半期の実績を受けて、通期業績は上方修正しました。今期の営業利益の計画が達成されると、中期経営計画の2023年2月期の目標利益を1年前倒しで達成する事になります。

筆者は**C&R** の2022年2月期の業績は、売上高が417億円と前年比で11.7%の増収を、営業利益は33億円と前年比で34.9%の増益になる事を予測しています。今下半期の会社計画はやや慎重で、計画を上回ると見ています。

4763 クリーク・リバー 東証 選定 20/5/25~21/11/29  
 日付:21/12/03 始:1940 高:2014 安:1940 現値:2002.470 出来高:97.7  
 MC:0.00 定:繰上移動平均[18]-----[26]-----[MA13:1989.00 MA26:1818.78  
 S1:出来高[18]-----[26]-----VS17.7 MA13:457.282 MA26:346.388



© QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント  
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報  
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa